松江市 報道提供資料

令和7年7月14日

件名

消防長表彰(人命救助活動貢献)について

内容

人命救助に貢献された市民の方を松江市消防表彰規程に基づき、消防長表彰として感謝状を贈呈します。

- 1 日 時 令和7年7月24日(木) 9時30分～10時30分
- 2 場 所 松江市消防本部 5階 大会議室
- 3 対象者 人命救助活動貢献【1事案7名】
※贈呈式の参加者は4名の予定
- 4 功 績 別添資料のとおり

【問い合わせ】

消防本部 消防総務課 担当：西田 太田 電話：0852-32-9111

令和7年度 消防長表彰実施内容

人命救助に貢献され、松江市消防表彰規程第2条第5号に該当する消防長表彰対象者に対して表彰を行い、その功績をたたえるもの。

1 実施日時 令和7年7月24日(木) 9時30分～10時30分

2 場 所 松江市消防本部5階 大会議室

3 内 容

- ・消防長表彰(感謝状)授与
- ・消防長 お礼のことば
- ・記念撮影

4 被表彰者【1事案7名】 人命救助貢献

① 長廻 久美子(ながさこ くみこ)	60歳代	職員	※
② 多久和 徹(たくわ とおる)	50歳代	職員	※
③ 飯野 修二(いいの しゅうじ)	50歳代	職員	※
④ 花田 真也(はなだ しんや)	40歳代	職員	
⑤ 豊田 智司(とよだ さとし)	40歳代	職員	
⑥ 杠 直輝(ゆずりは なおき)	20歳代	職員	※
⑦ 藤原 英保(ふじはら ひでやす)	60歳代	職員	

※当日出席予定者

5 功 績

令和7年5月29日(木)12時30分頃、島根大学グラウンド内で島根大学職員数名が昼休みに教職員サッカー部で活動をしていたところ、うち1名が突然倒れ込んだ。付近にいた職員が連携して心肺蘇生を行い、その結果傷病者が社会復帰するという救命事案が発生した。

突然倒れ込んだ傷病者に対し、周囲の者が駆け寄ったが、意識はなく痙攣を伴っており、呼吸も無かったことから、飯野氏が胸骨圧迫を開始した。多久和氏は救急車手配のため保健管理センターに急行し、同時に花田氏は付近にある大学体育館にAEDを取りに行き、その後、飯野氏はAEDを操作し電気ショックを1回実施した。その後、飯野氏により胸骨圧迫を継続していたところ、傷病者が意識を取り戻したため、胸骨圧迫を中止した。その際、豊田氏、杠氏及び藤原氏は継続的な声かけを行った。

現場から連絡を受けた長廻氏は、119番通報を実施。さらに詳細な状況を確認するため、多久和氏が119番通報しながら現場のグラウンドに向かった。

救急隊到着時、傷病者は会話可能な状態となっており、自覚症状の訴えもなかった。その後、多久和氏が救急隊に状況を伝達し、救急隊に引き継いだ。

本事案は、目撃者が近くにおりいち早く応援要請がなされたこと、応急手当の知識がある職員により適切・迅速な手当が行われたことから傷病者は社会復帰ができたと考えられる。被表彰者の迅速な対応がなかった場合、傷病者の状態は重篤になる可能性があった。

7名の適切、迅速な協力により尊い命が救われた功績は誠に顕著であり表彰に値するものである。

6 消防本部出席者

井ノ下消防長、足立次長、岡田次長、西田北署長